

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和7年 3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 中央地区町会連合会

1 交付決定額 

|   |            |
|---|------------|
| I | 金 550,000円 |
|---|------------|

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

|                    |  |          |    |         |
|--------------------|--|----------|----|---------|
| ① 事業名： 中央地区福祉互助会事業 |  |          |    |         |
| 実施主体               | 中央地区町会連合会 中央地区福祉互助会  |          |    |         |
| 実施日(期間)            | 令和6年4月1日～令和7年3月31日   |          |    |         |
| 実施場所               | 中央地区一円   |          |    |         |
| 事業概要               | <p>中央地区の独自事業として行う、地域住民による相互の支え合いの仕組み「中央地区福祉互助会」、生活支援を行う「かかわり隊活動」、高齢者への買い物支援を継続的に実施するもの</p> <p>【生活支援の内容】<br/>・買い物付き添い ・草取り ・庭木の剪定 ・ゴミ出しなど</p> <p>【買い物支援の内容】<br/>・ようこく朝市、城南あさ市の開催</p>  |          |    |         |
| 地域づくりの成果・効果        | <p>困っている人、支援を必要としている人と、何かしたいと思っている人をつなげる仕組みの運営を通して、公的制度では対応できないサービスを提供し、町会福祉を推進した。また互助会で情報を一元的に管理することで、町会を超えた助け合いの制度運営を行い、地区をあげて安心のネットワークづくりや生活支援機能を担うことができた。(令和6年度実績123件)</p> <p>また高齢者への買い物支援としての朝市活動では、気軽に話ができるお茶飲み処を設置し、住民に交流の場を提供した。また4年度開始のポイントカード制度を継続して実施したことにより固定客ができ、その仲間が集まって別のイベントへ参加するなど、地域活動の活性化にも貢献することができた。</p> |          |    |         |
| 課題                 | <p>・生活支援を担う「かかわり隊」利用会員のニーズの多様化により、対応できない案件が増加。幅を広げていくか、広げる場合はどこまでやるかを協力会員の中で話し合うことが必要。</p> <p>・城南朝市の暑さ対策(日よけテントなどの導入)</p>  |          |    |         |
| 決算額                | a+b+c  | 財 源 内 訳  |    |         |
|                    |  | a        | b  | c       |
|                    | 205,462円   | 150,000円 | 0円 | 55,462円 |

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

|                                 |   |          |    |      |
|---------------------------------|---|----------|----|------|
| ② 事業名： 中央地区 災害時要援護者優先避難所備蓄品整備事業 |   |          |    |      |
| 実施主体                            | 中央地区町会連合会 中央地区防災部 大手公民館災害時要援護者避難所運営委員会  |          |    |      |
| 実施日(期間)                         | 令和6年4月1日～令和7年3月31日  |          |    |      |
| 実施場所                            | 大手公民館 他   |          |    |      |
| 事業概要                            | 大規模災害時、災害時要援護者優先避難所の設置の際に必要な備蓄品を購入し、避難者に対して提供できる体制を整えるもの。<br>また、避難所運営委員会での学習事業を通して、地区内での防災分野の人材育成を行うとともに、避難所運営の課題抽出を図る。 |          |    |      |
| 地域づくりの成果・効果                     | 昨年度作成したシュミレーションシートに従い備蓄品を購入。これまで市職員が行っていた備蓄品管理を避難所運営委員会物資班・食糧班で行うこととし、災害時に速やかに対応できる体制構築を行った。                            |          |    |      |
| 課題                              | 防災倉庫の増設を検討したが、適切な設置場所を見つけることができなかった。引き続き検討していく。   |          |    |      |
| 決算額                             | a+b+c   | 財源内訳     |    |      |
|                                 |   | a        | b  | c    |
|                                 | 100,368円  | 100,000円 | 0円 | 368円 |

|                 |  |          |    |          |
|-----------------|--|----------|----|----------|
| ③ 事業名： 中央地区 夏祭り |  |          |    |          |
| 実施主体            | 中央地区夏祭り実行委員会 中央地区町会連合会   |          |    |          |
| 実施日(期間)         | 令和6年8月8日   |          |    |          |
| 実施場所            | 榊形跡ひろば 他   |          |    |          |
| 事業概要            | コロナにより途絶えてしまった地域の伝統行事「青山様・ぼんぼん」を復活し、住民の交流を促進するために縁日を開催した。企画は松大・信大の学生中心に実行委員会が行い、当日の運営は地域住民有志が学生たちと協働で行った。  |          |    |          |
| 地域づくりの成果・効果     | 当日は実行委員会含め約70名の学生及び住民有志が集まり、協力して祭り運営を行うことで、世代間交流となった。昨年に引き続き多くの観光客や市民が会場を訪れ、住民や学生、子どもたちと交流する場面が見られた。<br>また今年度は中学生ボランティアの参加が17名と多く、3年生を中心に自ら企画・準備を行い、当日の役割分担まですべて子供たちが決定するなど主体性を持った活動が見られた。参加した中学生のうち何人かはその後の公民館や地域のイベントに参加しており、若者が地域に関わるきっかけとなることができた。 |          |    |          |
| 課題              | 「自分たちの地域は自分たちでつくる」という気運を高めるため、若者だけでなく、地元企業や育成会とのかかわりを深めていくきっかけとなる必要がある。  |          |    |          |
| 決算額             | a+b+c  | 財源内訳     |    |          |
|                 |  | a        | b  | c        |
|                 | 547,177円   | 150,000円 | 0円 | 397,177円 |

|                         |                           |  |  |
|-------------------------|---------------------------|--|--|
| ④ 事業名： 中央地区 餅つき大会・門松づくり |                           |  |  |
| 実施主体                    | 中央地区町会連合会                 |  |  |
| 実施日(期間)                 | 門松づくり:12月24日 餅つき大会:12月26日 |  |  |
| 実施場所                    | 大手公民館 他                   |  |  |

|             |  |         |    |        |
|-------------|--|---------|----|--------|
| 事業概要        | 日本の伝統行事を中央地区住民が中心となって企画。<br>地域の企業やこども会、福祉団体等も参加し、一緒に伝統行事を行うことで住民同士の交流を図るもの。                          |         |    |        |
| 地域づくりの成果・効果 | 餅つきは毎年多くの住民が楽しみにしている行事であり、今年度も役員含め総勢154名が参加し顔を合わせての交流を行った。また門松づくりは町会連合会が中心となって、日本の伝統的な作り方を踏襲しながら行った。 |         |    |        |
| 課題          | 住民の高齢化により、年々参加者が減っている。また餅つきや門松については、作り方など日本の伝統文化を継承していく人材育成が必要。                                      |         |    |        |
| 決算額         | a+b+c  | 財源内訳    |    |        |
|             |  | a       | b  | c      |
|             | 58,100円  | 50,000円 | 0円 | 8,100円 |

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

|                   |          |          |    |          |
|-------------------|----------|----------|----|----------|
| 決算額(計)<br>(①+②+③) | A+B+C    | 財源内訳     |    |          |
|                   |          | A        | B  | C        |
|                   | 911,107円 | 450,000円 | 0円 | 461,107円 |

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

|                       |  |          |              |          |          |   |
|-----------------------|--|----------|--------------|----------|----------|---|
| 事業名：中央地区災害対策基金 資金積立事業 |  |          |              |          |          |   |
| 積立目的                  | 地震や洪水、大雪などの大規模災害時における必要物資の購入や除雪費用を速やかに調達するための資金を確保するとともに、災害時の住民の安心を確保することを目的として行うもの。 |          |              |          |          |   |
| 積立期間                  | 令和6年度から 令和10年度まで（本年度 1年目）  |          |              |          |          |   |
| 積立ての目標金額              | 500,000円   |          |              |          |          |   |
| 積立実績                  | 区分   | 積立額      | 積立事業への積立金充当額 | 差引累計     |          |   |
|                       | 前年度までの積立経過   | 1年目      | 100,000円     | 100,000円 | 0円       |   |
|                       |  | 2年目      | 100,000円     | 100,000円 | 0円       |   |
|                       |  | 3年目      | 100,000円     | 100,000円 | 0円       |   |
|                       |  | 4年目      | 100,000円     | 100,000円 | 0円       |   |
|                       |  | 5年目      | 100,000円     | 100,000円 | 0円       |   |
|                       | 本年度の積立実績   | D        | 100,000円     | E        | 100,000円 | F |
| 合計額                   |  | 500,000円 | 500,000円     |          |          |   |
| 本年度積立金を充当して実施した事業の概要  |  |          |              |          |          |   |
| 実施主体                  | 中央地区町会連合会  |          |              |          |          |   |
| 実施日(期間)               | 令和6年4月1日～令和7年3月31日   |          |              |          |          |   |
| 実施場所                  | 中央地区一円   |          |              |          |          |   |

|   |  |               |         |
|---|--|---------------|---------|
| 事業概要                                    | 地震や洪水、大雪などの大規模災害に備えて、必要となる資金を基金として積み立てを行い、緊急時に必要な物資(発電機、燃料、トイレ等)の調達や人材の確保、大雪災害時における業者への除雪委託費用(積雪30cm以上)などに充てたものです。 |               |         |
| 地域づくりの成果・効果                             | 大規模災害時を想定して、物資だけではなく資金を積み立てて確保しておくことで、地区としての備えや住民の安心の確保に繋がられます。  |               |         |
| 決算額                                     | E+G  | 財源内訳          |         |
|   | 100,000円   | E<br>100,000円 | G<br>0円 |
| 充当後の積立事業取扱方針                            |  |               |         |
| (積立継続) 令和10年度まで)・ 廃止                    |  |               |         |
| 廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法<br>防災倉庫設置費用の一部とする |  |               |         |

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

|       |   |    |
|-------|---|----|
| I-A-D | 金 | 0円 |
|-------|---|----|

[参考]繰越上限額 =  $I \times 2 / 10$

### 3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し